

デポジッター成型ラインの導入で 増大する需要に応え、販路拡大を推進



モールド（型）の取り外し可能なデポジッター成型ライン

株式会社野州たかむら

企業情報

〒321-3531 栃木県芳賀郡茂木町茂木181-1 TEL:0285-63-1730 FAX:0285-63-1009
E-mail:info@yashu-takamura.co.jp

代表取締役／小崎 和江 設 立 年／1975年
資本金額／2,000万円 従業員数／25名

事業内容

- 菓子・食品及び医薬品の製造
- 自然エネルギー等による発電事業及びその管理・運営



株式会社野州たかむら

度重なる自然災害を乗り越え新たなスタートへ

当社は昭和50年に創業し、相手先ブランド製造のOEMを主力にキャンディ製造会社として“あめ”作り一筋に歩んできました。創業以来、度重なる自然災害（水害、地震、竜巻）により大きな被害を受けながら、その度に会社を再興してきました。平成24年、竜巻被害から立ち直るきっかけとしてこれまで主力としてきたOEM生産から自社ブランドの開発、販路拡大を目標に新たなスタートを切りました。

素材を厳選し、着色料や香料を使わない「どうぶつべっこう飴」は、幅広い年代に支持されたことでヒット商品になりました。国内市場に加えて海外からの引き合いもありましたが、需要に生産が追いつかない事態となることを恐れ、取引をためらう状況でした。その理由は、30年前に導入したデポジッター（流動状態にあるキャンディの材料を成型型に充填して、キャンディを成型する製造装置）成型ラインの老朽化により十分な生産体制が確保できないことでした。そこで本事業を利用し、設備の刷新を図り、生産能力の向上と販路の拡大を目指すことにしました。



旧デポジッター成型ライン。
キャンディの冷却に扇風機を使っていた

実施事業

「べっぴん飴」製造プロセスの強化による
生産性・品質の向上と国内外の販路拡大

作業効率・生産性・職場環境を改善

通常のデポジッターは、モールド(型)が固定式で取り外しができないため1種類のキャンディを大量生産するのに向いています。しかし、当社のキャンディは多様な形状(ネコ、ゾウ、ライオン、クマなどの動物や飛行機、車など)のキャンディが特徴であり、生産性の向上にはモールド(型)の取り外しが可能な新たなデポジッター成型ラインの導入が必要不可欠でした。

新たなデポジッター成型ラインの導入により改善された点としては、次の3つがあります。

- ①キャンディの材料充填と型送りのタイミングが一致することで充填が適切・適量に行われ、不良率が減少し、作業効率が向上した結果、1時間あたりの製造量が50kgから77.2kgに増えました。
- ②クーリングトンネルの導入により、キャンディの冷却時に外気温の影響を受けにくくなり、べたつきを抑えることができ、生産効率と品質が向上し、不良率が8%から3.8%に減少しました。
- ③キャンディをモールド(型)から取り外す装置の改善で割れや欠けの発生が減少し、モールド(型)をハンマーで叩き、キャンディを取り外す際の音も等価騒音レベルで92.3dBから77.9dBに減少し、職場環境の改善につながりました。



導入したデポジッターで成型したキャンディ



キャンディを冷やすクーリングトンネル

デポジッター成型ラインの導入により海外開拓も視野に

当社ではデポジッター成型ラインの導入により、生産性の向上、不良率の削減のほか、職場環境の改善も実現しました。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを目途に検討されている食品製造業者のHACCP導入に伴う義務化への準備にもなったと考えています。2015年には自社のオリジナルキャンディブランド「AMER」(アメール)を市場に展開し、「見て楽しむ」「食べて楽しむ」をテーマに今まで見たことのないキャンディを提案し、主に若い世代をターゲットに新たな市場開拓を行っています。

自社ブランドの開発・展開による競争力も強化できたことで、今後これらを会社の強みとして、従来のOEM生産はもちろん、新たな顧客・市場ニーズに対応していきます。外国人旅行客増加に伴うお土産の需要や海外からの引き合いを踏まえて積極的に海外の市場開拓も進めたいと考えています。



自社商品の「どうぶつべっこう飴」

Comment

代表取締役 小崎 和江

販路拡大の足がかりにショールームを開設

当社は父親が創業し、私で三代目になります。度重なる自然災害でもうやめてしまおうかと思ったこともありますが、「最高の仲間」と「最高の商品」を作り、お客さまに「最高の感動」をお届けすることを使命と考え、社員一同、心を一つにして飴づくりに取り組んできました。2018年には東京・渋谷にショールーム兼営業拠点を開設し、販路開拓、自社ブランドの全国展開を目指しています。

